

令和元年度第1回花巻市子ども・子育て会議 会議録

| | |
|---------------|---|
| 日 時 | 令和元年7月8日(月) 午後2時30分から午後4時30分まで |
| 場 所 | 花巻市文化会館中ホール |
| 出席委員 (12名) | 鎌田輝恵委員、打田修子委員、八重樫裕美委員、照井悠公委員、 晴山裕子委員、瀬川和子委員、内村悦子委員、藤戸妙子委員、 佐藤正昭委員、上野文男委員、中村良則委員、佐藤良介委員 |
| 欠席委員 (7名) | 岩館光委員、高橋茜委員、本宮信也委員、晴山智恵美委員、 佐藤勤委員、牛崎恵理子委員、鎌田文聰委員 |
| 市出席者 | 佐藤教育長、岩間教育部長、今井こども課長、村田課長補佐、新湊課長 補佐、北山こどもセンター副所長、菊池保育管理係長、藤原就学養育係 長、高橋子育て支援係長、河野主任、菊地主事 |
| 関係各課 | スポーツ振興課高橋課長補佐、商工労政課佐藤主査、地域福祉課吉田児 童家庭係長、障がい福祉課及川自立支援係長、健康づくり課藤田課長補 佐、健康づくり課蟹澤母子保健係長、学校教育課中村課長、学務管理課 佐々木課長 |
| 議 題 | (1) イーハトーブ花巻子育て応援プランの実施状況について (2) 第2期花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定について (3) 花巻市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について (4) その他 |

議 事 録

委嘱状交付

新たに委員になられた方へ教育長より委嘱状手交

1 開 会

○こども課村田課長補佐(事務局進行)

皆様大変お待たせいたしました。本日はお忙しい所御出席くださいますとありがとうございます。中村会長が所用で少々遅れておりました、今こちらの会場に向かっているということでございますので、まだお揃いではございませんが進めさせていただきますと思います。

それでは会議に先立ちまして、このたび新たに委員となります方々へ辞令書を交付いたします。教育長から辞令を交付いたしますので、恐れ入りますがお名前を読み上げられましたならばその場で御起立いただきまして辞令書をお受け取りいただければと思います。高橋茜様は本日ご都合により欠席となっております。

本日の会議には委員19名中、中村会長が間もなく参りますが、12名の方に御出

席いただきまして、半数以上の委員が出席しておりますので、花巻市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定による開催要件を満たしていることを御報告申し上げます。

また、本日の会議につきましては会議録を後日作成する関係で、このマイクを使用中にして会議を進めさせていただきたいと思っております。皆様におかれましては御手数をおかけして恐縮でございますが、ご発言の際は係の者がマイクをお持ちいたしますので、マイクをご使用になられて御発言いただきますよう御協力をよろしくお願いいたします。それでは令和元年度第1回花巻市子ども・子育て会議を開会いたします。

花巻市教育委員会教育長佐藤勝よりご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

○佐藤教育長

本日大変お忙しい中、そして今日大変暑いわけですが、御出席をいただきありがとうございます。また、委員の皆様には、保育教育、児童福祉、社会福祉あるいは商工会など、さまざまな子供たちの発達段階あるいはさまざまな場面から望ましい発達環境整備に日ごろより大変大きなお力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、新たに委員を御了承いただきました委員の方々にはよろしくお願い申し上げます。

この会議は、国の子ども・子育て支援法施行に伴いまして、設置が義務づけられた会議でございます。国の今の制度に移行して花巻市においても平成27年度から本年度までこの5年間の計画期間とする「花巻市子ども・子育て支援事業計画」「イーハトーブ花巻子育て応援プラン」を策定いたしまして、毎年度、事業内容を評価し改善するということになっております。事業内容は107という大変多くの事業から構成されスタートしておりますが、その後さまざまなニーズに対応して、施策が追加されたり、あるいは内容も一部変更している状況にあります。そして本年度中には、次の支援事業計画を策定するということとなっております。また、本年10月1日から実施されるという予定になっておりますが幼児教育・保育の無償化も盛り込まれるということになっております。今日は平成30年度イーハトーブ花巻子育て応援プランの実施状況と本年度事業計画、次期花巻市子ども・子育て支援事業計画案、この策定に先んじて実施いたしましたニーズ調査の結果等を議題に協議をさせていただきたいと思っております。子ども・子育てはお手元の資料のとおり大変分厚いわけですが、大変広汎な事業であります。しかしながら、時代を担う子供たちの育成、さまざまな社会の変化に対応した子育て支援は、とてもとても大事なものであるということと考えておりますので、ぜひ皆様御専門のお立場から忌憚のない御意見や御質問を賜り、会議全体としての共通理解を深めながら、何とか花巻市の子ども・子育て支援の充実につなげてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○こども課村田課長補佐(事務局進行)

続きまして、委員紹介でございます。今井こども課長から御紹介を申し上げます。

3 委員紹介

○こども課今井課長

〔今井こども課長より委員を紹介〕

議長選任

○こども課村田課長補佐(事務局進行)

それでは次第4の議事に移りますけれども、議長につきましては、花巻市子ども・子育て会議条例第4条第2項の規定によりまして、会長が議長になるとされてございます。それは中村会長様に御挨拶をちょうだいして、議事の進行をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

○中村会長

改めまして富士大学、中村です。本日は本年度最初の会議に遅れて大変失礼いたしました。今日令和元年度第1回の花巻市子ども・子育て会議ということで、現在の応援プランの実施状況の確認、それから新しい事業計画の策定についてお話があるということで、皆様の忌憚ない御意見いただければ結構だと思っております。どうかよろしくお願いをいたします。

それでは早速ですけれども議事に入りたいと思います。議事は大きく3点ですね。

(1) イーハートーブ花巻子育て応援プランの実施状況等について、事務局から説明をお願いいたします。

4 議 事

(1) イーハートーブ花巻子育て応援プランの実施状況等について

○こども課高橋子育て支援係長

〔高橋子育て支援係長より資料No. 1について説明〕

【質 疑】

○中村会長

はい。どうもありがとうございました。それでは今107事業の概要について御説明いただいたのですが、委員の方々からですねこの点はどうかという確認とか質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。どうぞ。

○佐藤良介委員

いまの説明は平成30年度の目標値に対する実績の状況ということでしょうかから、そうしましたら平成30年度の目標値もここに記載していただければ非常に分かりやすかったと思います。私は前回の目標値の資料を本日持ち合わせておりませんので、

その辺はいかがなものでしょうか。

○中村会長

いかがでしょうか。

○こども課高橋子育て支援係長

申しわけございませんでした。次回から目標値を資料のほうに入れさせていただきます。

○中村会長

佐藤委員よろしいでしょうか。はい。ほかにはいかがでしょうか。どんなことでも結構だと思いますけれども、いかがでしょうか。はいどうぞ。

○藤戸委員

それでは7ページの54番「3歳児健診における受診の割合」が99.0%の実績ということで、分母がわからないので受けていない1%の人数がわからないんですけども、長期入院等して受診ができなかったものなのか、親御さんが連れてこなかったものなのか、連れてこなかった親御さんに対して後日家庭訪問をしたのかどうかを教えてくださいたいです。

○中村会長

お願いいたします。

○健康づくり課蟹澤母子保健係長

はい。健康づくり課母子保健係の蟹澤と申します。お世話になっております。今の質問でございますが、受診していない方の状況と対応について知りたいという御質問だったかと思えます。委員さんがおっしゃられたように、家庭の都合で対象者の時にお越しになられずに年度を越えて受診した方もいらっしゃいますので、一応、年度での集計ということでは99%になっているところです。あとはやはり医療につながっておりまして、保健センターへの来所による健診が難しいお子さんもいらっしゃいますし、あとは家庭の事情においてお越しになられない方に対しましては、再度受診できるように通知を行い、それでもお越しになれない場合には、状況把握といたしまして家庭訪問で状況を確認しているところになります。以上です。

○中村会長

よろしいでしょうか。はい。補足的に質問ですが、99.0%っていうと1%というのは実数で何人になるものですか。1人～2人っていうことでしょうか。

○健康づくり課蟹澤母子保健係長

ちょっと今正確な数字は申し上げられないですが、だいたい5～6名だったと思われれます。

○中村会長

わかりました。どうもありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

○上野委員

3番のところですが、30年度の相談件数1,881件から比べると、R1の目標値の3,450件というのはだいぶ開きがあるように感じるのですけれども、H30の実績がたまたま低かった、目標はもっと高かったということなのではないでしょうか。

○こどもセンター北山副所長

はい。こどもセンターの北山と申します。今おっしゃいましたように、H30の目標値を最初高く掲げておりました、その当時は相談が多かったようです。来所の数は徐々に増えてきておりますが、相談という事よりも広場に来て遊ぶという利用のされ方が増えてきているということで、相談の件数は少なくなっている傾向にあります。利用件数は増加しておりますので、そのような状況で最初立てたときは目標値が高かったようでありました。

○中村会長

よろしいでしょうか。はい。それではほかにいかがでしょうか。

○佐藤正昭委員

14ページの98と99、これは同じだと思うのですが、64.9%これは終了した世帯が64.9ということで、残りの35%前後の方は継続していると捉えてよろしいのでしょうか。それともう一つ、これもパーセントはこのとおりですが、実数です。実際に関わっている世帯数がおおよそわかるものかどうか。わかったらお知らせ願いたいと思います。以上です。

○中村会長

いかがでしょうか。

○地域福祉課吉田児童家庭係長

地域福祉課の吉田と申します。お答えいたします。残りの約35パーセントにつきましては継続扱いということで、解決しなかったために年度を越えて調査をしたり関わりを持ったり支援をしたりという家庭になっております。実数でいきますと、18世帯の34件が未解決という形で残っております。以上です。

○中村会長

よろしいでしょうか。はい。ほかにいかがでしょうか。

○打田委員

33番です。スポーツ少年団の本部の活動を奨励するということで、うちでは兄弟で入所している場合に、お兄ちゃんお姉ちゃんたちがクラブ活動、その後の活動をしなければならないのでと言って保護者の方が4時半ごろに迎えに来て、仕事を早く終えて迎えに行かなければならなくて大変だ。もう毎日毎日、土曜日も日曜日も。という話をよく耳にします。全ての保護者がお子さん方の送迎をできるわけではないと思うのですが、ここには奨励って書いてありますけど、スポ少活動が終わった後に子供たちがどうやって家に帰っているのかっていうことは把握しているものではないでしょうか。やっぱり非行だったり、いろんな事件に巻き込まれる危険もあるのかなって。大

変だという声がよく聞かれますので、ちょっと伺いたいなと思いました。

○スポーツ振興課高橋課長補佐

スポーツ振興課です。スポ少活動後のお迎えの状況等については把握してございません。スポーツ少年団への登録についてはあくまでも任意であり、親御さんの同意に基づいているという部分でございますので、何かと大変だというのは理解できますけれども、ご協力をお願いしたいと考えています。

スポーツ少年団と同様に、中学校のクラブ活動の部分に関しても、父母会の活動とか送迎について負担を感じている親御さんもいらっしゃると思います。ご質問の答えになっていないかもしれませんが、スポーツ振興課として把握しきれていないのが実情ですし、あくまでも任意の活動の上での事ということでご理解をいただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

○打田委員

はい。ありがとうございます。先日も「保護者が迎えに行けないので6時過ぎまで学校にいさせてもらいたいという不審な電話があった」という情報が回ってきました。私たち園にするとそういうことはあり得ないです。保護者が迎えに来ますので、あり得ないのです。任意だっていうのは今のご説明でよくわかりましたけども、今はいろんなことが起こりうる時代なので、何か大きな事故にならなければいいなという不安があって、質問をさせていただきました。ありがとうございます。できれば皆さんで守っていただければいいなと思います。

○中村会長

はい。ほかにいかがでしょうか。

○佐藤良介委員

30番の学童クラブについてお尋ねいたしますが「入所申し込みをした者のうち入所できなかった児童の数」が0人となっています。学童クラブが不足しているという話も聞くわけですが、実際のところゼロということなのでしょう。これは年度末の調査の結果ですか。

○中村会長

はい。いかがでしょうか。

○こども課高橋子育て支援係長

この数値は30年4月当初のもので、この時点では待機がなかったという形で集計してございました。

○こども課今井課長

すいません補足いたします。平成31年度につきましては、実際には待機児童が発生しているという状況がございます。こちらの資料についてはあくまで、各学童を通じて30年の4月にまず学童に入るという部分での実績ということで、ここに記載

させていただきます。

○中村会長

よろしいですか。

○佐藤良介委員

これは関連してなのですけども、何か別なもうちょっと適切な指標が多分あるのじゃないかという気がします。例えば、年間を通じて入りたかったけれども入れなかったという人数を各学童ごとに捕捉した数がありますよね。それを全部月ごとに集計して、定員で割ってやると何%というふうに出ると思うのです。それが実際の待機児童、学童に対する待機児童の数でしょうから。それをゼロに近づけるように考えるのが自然なことじゃないのかなって思ったりもするのですけども、いかがでしょうか。

○こども課今井課長

はい、そうですね。待機児童の捉え方については、様々あると思います。実際に申し込みしていただいて入れない児童数ということで今はとらえていますけど、そもそも最初から入れないからと最初から申し込まない方とか、あとは年齢制限で4年生以上は入れないからとか、中には諦めている方もいらっしゃるという話もございました。待機児童の捉え方についてはそういう難しさもございますが、この捉え方というか確認のし方についてはさらに検討して、実態に沿った人数を把握していきたいと思っております。

○中村会長

大変だと思いますけども、よろしく願います。ほかにはいかがでしょうか。関連しても結構だと思いますが、いかがでしょうか。

それではもし気がついたことがあれば後でも結構ですし、また市の方にその都度言っていただければお答えいただけると思いますので、本会議の席上での審議ということでは議事の第1番については以上ということにいたします。

それでは、続きまして、議事の(2)第2期花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定について、事務局から説明お願いいたします。

(2) 第2期花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定について

○こども課村田課長補佐

[村田課長補佐より資料No. 2について説明]

○中村会長

はい、今後5年間の新しい計画をつくるということですね。その記載事項としては大きく必須事項と任意事項があるということですけども、スケジュールは今年1年間かけて行いますよということです。この点について何か委員の方気づきの点とか、御意見等ございますでしょうか。

実際にこれから子ども・子育て会議を開催し計画を策定する形になりますので、そ

の時々この点は詰めたらどうだとか、こういったのはどうしてどう考えるかと、いろんな形で御意見をいただくという形になっております。

もし何も無ければ議事の2番「第2期の花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定について」のスケジュールの部分の説明は以上で終了ということにいたします。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして議事の3番目ですね「花巻市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果について」この点の説明をお願いいたします。

(3) 花巻市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果について

○こども課村田課長補佐

〔村田課長補佐より資料No. 3について説明〕

○中村会長

はい。どうもありがとうございました。これだけ細かくニーズ量等を推計して、実際の供給量を合わせようということだと思います。ニーズ調査に関する集計分析ですね、こちらのほうも大部の形になっておりますが、これまた大変細かな集計をしているわけです。ただ最後のところで「不満あるいは若干不満」が過半数を占めると、ちょっと意外な数字のような気がします。就学前、就学児それぞれ細かにニーズ調査をしているということで、貴重な資料かと思えます。

全般に関してこの際ですので、御質問とか、何か確認したいということがあれば、一つ二つお願いしたいと思えますけれども、いかがでしょうか。どうぞ。

【質 疑】

○打田委員

ニーズ調査ありがとうございました。御苦労さまでした。これだけの数字で見せていただくと、中身がよくわかるなと思えます。5年計画ということで、数字としてはそれほど大きくはないのですけれども、でもやっぱり確実に少子化なのだなというのが見えました。こちらの3-1の冊子の内容として、お母さんが仕事を休んで子供をみるのが多いのかなと感じました。花巻の企業として「母親が休む」が多い、逆に言えば「父親が休める」企業は無いのだからって感じます。確かに私たちも、もしお子さんが病気などの緊急時には、やっぱりお母さんのほうに先に電話をかけてしまいます。またおうちの方も、お母さんが「私に連絡を」という要望がありますのでそちらにお電話をしますけれど、迎えに来るのはほとんどお母さんです。または、おばあちゃんかおじいちゃんです。お父さんがお迎えに来るということはめったにないです。そのかわり保育参観のときは1人の子供に両親がついてきます。今働き方改革って言って5日間は必ずって話もあるのですけど、お父さんがお仕事がお休みでも子供さんは休みません。お母さんが仕事がお休みのときは、お子さんも一緒に休むということはありません。でもこの調査の中には、両親で保育をしていますって数字

が上がっていましたけれど、「どちらを信じようかな」という部分もなきにしもあらずです。

変な話をして恐縮なのですが、いま紫波町がすごく活性化している、活性化していく、ですか。花巻の大手の企業も、紫波町のほうに移っているっていうような話も聞きます。いや、花巻はどうしたものかなって、子育てに優しくってする基本目標に書いてあります。そのとおり先ほどの事業に関しても花巻市の方々が関与していただいて、107もの事業をしていただいております。でもよそに行くのはなぜかなあとか、よそが活性化するのはなぜかな、少子化にどんどんなっていくのかなっていうのがちょっと不安なところ、ちょっと余談なのですが。

子供たちと遊びに行くのに、北上のイオンなのですが、お金払うと何時間だか砂場で遊べるという場所があるらしくて、それが他市なんですよ。花巻にないんです。子供たちの保護者も含めて、家族みんなで遊べるような場所がもっとあればいいのかなって、そしたらよそにはいかないのかなっていう部分もあります。たくさんの方がここに書かれてあって統計もとられていますので、今後何度も子育て会議が開催される予定になっていますので、皆さんでたくさんのお意見を出していただいて、花巻の人口を増やしていただければ、施設も建ちますよって、増築っていうのがここにその他っていうことで書いてありました。今、「量」かもしれないのですが「質」でもありますので、簡単に施設をぽんぽん建てただけでいいのかな、少子化になっていくのに施設だけ建てちゃっていいのかな。箱は幾らお金も出せば建てられますけど、中身をどうするのかっていうのも、ずっと施設をやっている者からすると、不安なところもあります。そこを皆さんでお話ししていただいて、良い会にしていけたらいいのじゃないかなって思いました、ご意見でした。はい。

○中村会長

はい。どうもありがとうございました。もっともなことだろうと思います。花巻でできることできないこともあるわけでしょうし、それから少子化というのも全体的な流れと地域的な流れでかなり違ったところもありますので、きめ細かく考えていかなきゃならないのだなと思います。

花巻全体の活性化と、それから父親のライフワークバランスとかですね、これはやっぱり市長さんにもちょっと考えてもらうこともあるかと思います。はい、どうもありがとうございました。関連したことで何かもしあればどうぞ。

○上野委員

こどもひろばを支援している立場でお聞きしたいと思います。その前に、調査を非常に詳しく綿密にやられていることに対して、感謝申し上げたいと思います。

施設を利用している保護者、この広場に来ている親子は「施設を利用していない」親子になるわけですね。特に未満児になるわけですが、最初質問ですけれども、就学前の児童、未満児ですね、この集団の中に占める「施設を利用していない人数」と

というのは何パーセントぐらいなのでしょう。最初それを質問したいと思います。

○中村会長

具体的には何ページですか。

○上野委員

報告書の2ページですか。(1)の属性の所でしょうかね。未満児は何ぼくらい。

○こども課村田課長補佐

はい。それで正確な数字ということではないのですが、厚い方の資料の2ページに記載されている「就学前の児童の保護者さん」に対して「調査票の配布数」が3,173人となっております。これは施設に入って利用している方、そうでない方も含んでの3,173人ということでございます。これに対しまして資料3-2の1ページ目に記載してございます平成31年度の「教育・保育施設の利用児童数」が2,871人です。この数字を比較しますと、概ね施設利用者が9割ぐらい、利用されていない方がおおよそ1割かなというように推測いたします。正確な回答とは言えないかもしれませんが、一応目安として御理解いただければと思います。

○上野委員

そうすると未満児の1割程度が、子供広場などの事業に月1回とか参加してくると。あるいは振興センターに行っていることになるわけですね。

(14)の定期的な教育・保育の利用、未利用の理由でも「必要を感じない」がかなりの割合でしたが、施設を利用している方と利用していない方で何か違いは無いのでしょうか。利用していない方の母親の心身の健康とかそういう面は、お仕事をしていないわけですから余り心配しなくてもよいということなののでしょうか。

○中村会長

地域の子育て支援事業でいえば資料の69ページですかね。「利用していない」が圧倒的に84%もあります。

○こども課村田課長補佐

アンケートの回答内容では「子供が小さい」とか「そもそも利用しない」という回答が見受けられたんですが、先ほどご質問の「お母さんの心身の健康状況」といった個別あるいは具体的な状況については、今回の調査だけでは分析しかねますので、「ちょっとわからない」というのがお答えになってしまいます。もし何かの情報でそういった母親の心身の健康状態に関わる部分がありましたら、会議の場でも情報を共有しながら計画づくりの参考にしていければというふうに思います。現時点で情報がないので恐縮ですが、よろしくお願ひしたいと思います。

○上野委員

「こどもひろば」に来てくれているお母さん方は、その場でコミュニケーションをとったり、いろいろ活用して下さっているようですから、私は来てくれている方々にとっては良い機会になっていると感じております。どうも失礼しました。

○中村会長

はい。ほかに関連して何かございませんでしょうか。どうぞ。

○藤戸委員

厚いほうの資料の58ページですけど、15番の「土日祝日において月に1～2回は利用させたい」という方の理由で、仕事等が79%、平日に用事が済ませられないが30%、息抜きのため20%とあります。トータルすると100%を超えるので、これは複数回答なのかなと思うのですが、ほかにも何か所かあったような気がしますが、1つだけの回答と複数回答があるときに、それを目で見えてわかるように「複数回答」とかを入れていただければ親切かなと思いました。すいません、お願いします。

○こども課村田課長補佐

ご意見ありがとうございます。確かにその設問の内容は「一つだけお答え下さい」とか「当てはまるもの全てにお答えください」というような内容になっておりますので、こちらの厚い資料につきましては後日ホームページなどでも公表したいと考えておりますので、その際にはそういった注釈もつけられるように検討させていただきたいと思います。

○中村会長

とても大事な指摘だと思います。ほかにいかがでしょうか。

それでは僕のほうも1つ。先ほどもちょっと言いましたが1番最後のニーズ調査のところですけども、結論的に「満足ですか満足でないですか」と聞いたら、過半数が「満足ではない」という回答になっていて、これをどう見るかだと思うのです。その辺は市としてはどのように回答結果を受けとめているものか、ちょっとお考えを聞かせ願えればと思います。

○こども課村田課長補佐

会長からのご質問は110ページの部分になりますが、「どちらかという不満」という回答の割合が多い結果となっております。詳細については分析をしておりませんが、このアンケートで保護者さんから自由に記載をしていただく欄を設けて、たくさんの方から色んな自由な形での御意見を頂戴しております。

保護者さんの感じられる感覚の部分の中で、花巻市の子育て支援がすごく充実しているという御意見もあった一方で、保育園等の関係で希望しているところに入れないですとか、サービス面で他の市町村と比較して十分でないというご意見も多く見られました。回答される方々のご経験ですとか、そういった部分に左右されるところがあるのかとは思いますが、詳細な分析には至っておりませんが、ご回答いただいたご意見から見えてくることは、そういうことになろうかなと考えたところでございます。

○中村会長

実際に子供を見ているといろんなことで不都合があるから、なかなかうまくいかない。自分の思うとおりにならないっていうのは、ほとんどの方が感じることだろうと

思うんですよ。ですから支援活動に対しても、もうちょっとかゆい所に手が届くようなことをしてくれるとありがたいなっていう、そういう要望は皆さんごく自然に感じると思うんです。ですので「不満」あるいは「どちらかと言うと不満」という回答が過半数を占めるのは自然なことかもしれないなとも思いますが、できればこの数字がちょっとでも減っていくように、「満足」あるいは「どちらかといえば満足」という数字が増えるように努力していただければと、そんな思いからお伺いいたしました。

他の方、あとは何か全般的なことでも結構ですけれども、いかがでしょうか。これも大部な資料ですし、非常に細かい、それぞれ一つ一つの答えの背景を考えるとなかなか難しいこともあるだろうなとは思いますが、何かお気づきの点があれば。

では、何かあれば改めて事務局のほうにお寄せいただければ、ご回答、ご検討いただけたと思いますので、まずは席上での審議は以上で終了するということにいたしてよろしいでしょうか。

はい。それでは議事の（４）その他に移ります。この点いかがでしょうか。

（４）その他

○こども課今井課長

こちらの資料ナンバーは記してございませんけども、今年の10月1日から幼児教育・保育の無償化がスタートしますということで、国が作ったチラシを添付しておりますのでご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

また右上に「その他」と書かれた「市内保育施設の整備状況について」というA4の資料を1枚つけてございます。

「1、待機児童の状況」でございます。7月1日現在で19名となっております。今年度につきましてはだいぶ待機児童が減りまして、例年ですと7月をピークとしまして右肩上がりが増加する傾向がございますが、今年度につきましては概ね4月までに施設の整備も進みまして、待機児童数が減少している状況でございます。それから2につきましては、今年度に施設整備を行い来年の4月までに新たに開所予定の施設ということで掲載させていただいております。4カ所となります。東十二丁目地内の認可保育施設、改築になります。あとは花巻市城内に認可保育園を創設、新たにということでございます。そして花巻市不動地内に認可保育所の創設、松園町地内に小規模保育事業所を創設の予定となっております。以上でございます。

○中村会長

はい、これはこういう状況にあるということですね。用意された議題は全て終了したわけですが、最後に何か一つ二つ聞いておきたいというふうな事はございませんでしょうか。

【質 疑】

○打田委員

10月1日からの無償化ということでチラシが配布されましたが、花巻市のほうからも園のほうに説明があるということで伺ってはおりますけれど、いくつかお聞きします。

先ほどの資料にも休日の保育のニーズのお話がありましたが、無償化になるとこれはどうなるのか。利用するとすれば自己負担のお金はどうなるのか。あとか給食費のこと、1号認定の子供の費用の国で定めた金額との整合性のこととか、いろんな問題が出てきてこの先どうなるのかなっていう不安もあります。もう無償化は決まったことだと思いますが、そこに向かいながら皆さんもいろいろなことを知っていただいて、地域であったりいろんな方々が感じていることに対して、こうだよっていうお答えをいただければいいなって思います。

○中村会長

はい。どうもありがとうございます。何か市のほうで、お答えになれることはありますか。

○こども課今井課長

はい。今日お配りしたチラシ以上の事は、今はまだ話できる状態ではございません。今月より各施設説明を予定してございますので、そこでまた具体的な話といたしますか、いろんなご意見をうかがったりしたいと考えております。まだ決定していない部分もございますので、今回の一回の説明で終わりということではなく、今後も何回か説明の機会をさまざま持ちながら実施に向けていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○中村会長

はい。それでは本日の議事については以上で終了ということにいたします。どうも皆様ご審議ありがとうございました。

5 その他

○こども課村田課長補佐(事務局進行)

御審議ありがとうございました。続きまして次第の5の方の「その他」でございませうけれども、議題以外で皆様からその他の事項でございましたらお願いしたいところですがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい。

それではないようですので、今井課長より今後の会議の開催予定について御案内を申し上げます。

○こども課今井課長

まずは長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。先ほども申し上げましたとおり、次回の会議につきましては9月下旬から10月上旬を予定してございます。次の会議では、ニーズ調査を受けて量の見込み検討とか確保方策についてが主

な内容となっております。また日程が決まりしだい御案内申し上げますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

6 閉 会

○こども課村田課長補佐(事務局進行)

それでは以上をもちまして、令和元年度第1回花巻市子ども・子育て会議の一切を終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。